

私が贈る1冊

新装版

# 思考は現実化する

ナポレオン・ヒル著 田中孝顕訳 きこ書房

藤井大介

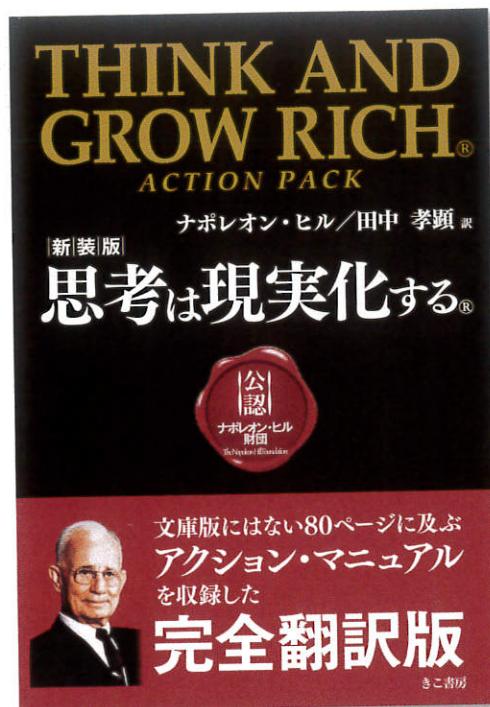
大田原ツーリズム代表取締役社長  
ファーム・アンド・ファーム・カンパニー代表取締役社長

いまの観光業界にとって、なによりDMOにとって、根本的に足りない人材が「経営者」だと思う。DMOのトップが起業家もしくは相応の人材が配置されれば、地域は面白くなるはずだ。また、事業を創出するだけでなく、融資や出資などの資金調達、人を雇用している起業家であれば能力は十分だ。その意味で起業家としてのバイブルを紹介したい。ただ、精神論よりハラスメントが先に来る最近の時代の風潮に合わない部分もあるかもしれないが、起業家の本質は同じで、リーダーになるのであれば読むべきだろう。

本書に出会ったのは、ある経営者からぜひ読んでみなさいと紹介されたのがきっかけである。それは起業した10年以上前のことになるが、「成功するかどうかは、もうだめだと思った時にやり続けられるかどうか」という私の考えをその経営者へ伝えた時に紹介していただいた。

本書に出てくるのは、いかに心理的に自分をコントロールし、モチベーションを高くし、スピード感を高めて、行動力を高くするかということである。挫折を感じても、目標をもってどん底からはい上がることが重要であるという。

ハラスメント意識の高まりで、企業で若手の学びになることをストレートに教えにくくなった。どんなに初任給の10倍の給与になる方法を知っていて、指導をするためにその手法と自己啓発を促してもサービス残業やパワハラなどと言われかねない。最近の若手は努力より合理性を求める傾向が強い。



ただ、いつの時代にも変わらないのは、努力すれば努力するほどチャンスは訪れ、その努力は成果をもたらすということだ。100年前のエジソンもいまの時代もそれは同じだろう。

観光で重要なことの1つがプロモーションを行うこと。その中でプロモーションとは結局、SNSやコミュニケーションの手法が発達したいまでも、人と人の接点を多くし、ネットワークを構築して、地域やコンテンツをセールスしていくことだ。マーケティングによってターゲットに訴求する合理的な手法はあるにせよ、その戦略のための調査やプロモーションについても、最後は熱意ある努力と誠意が人の心を動かし、送客につながっていく。時間の概念を捨てて努力をすれば、それだけのネットワークが構築でき、突き動かされる人も増えて成果が上がっていくのだ。

観光を通して大きな社会貢献やリーダーを目指す人には、働き方改革や目先の利益にとらわれることなく、本書を読んであらためて自分の生き方を見つめ直してほしい。



## Profile

ふじい・だいすけ ●09年ファーム・アンド・ファーム・カンパニー設立。経営支援、「下野農園」惣菜・飲食事業を展開。12年に大田原市と合併で大田原ツーリズム設立。2年連続重点支援DMO。180軒の農家民泊を中心とした農村観光の企画・造成や「飯塚邸」運営。